

## 岩手県立大学社会福祉学部紀要 投稿規程

2003 年 12 月 11 日策定

2008 年 7 月 16 日改定

2010 年 7 月 21 日改定

研究推進委員会

### 1 総 則

- (1) 本誌は「岩手県立大学社会福祉学部紀要」と称する。
- (2) 本誌は原則として毎年度 1 回刊行することとし、3 月末を刊行時期とする。
- (3) 本誌に投稿資格のある者は、本学部あるいは本学大学院社会福祉学研究科に所属し本学より基盤研究費の交付を受けている者及びそれらの者との共同研究者とする。
- (4) 投稿原稿は未公刊のものに限る。
- (5) 原則として原稿の第 1 著者が投稿者となり、投稿できる原稿数は、1 号につき 1 人 1 編とする。投稿者は第 1 著者としての投稿原稿以外に、第 1 著者となっていない原稿を投稿することができる。
- (6) 投稿原稿は記述内容については完成しているものとみなし、その内容上の責任と権利は全て投稿者およびその原稿の著者にある。
- (7) 投稿原稿の言語は、日本語または英語とする。
- (8) 投稿原稿の書式、分量、構成については、「原稿作成要領」で別に定める。
- (9) 投稿原稿の採否については、別途定める紀要編集委員会が査読結果を基に決定する。
- (10) 校正は初校及び再校を投稿者が行ない、それ以降は研究推進委員会において行なう。なお、校正は誤植に限るものとし、原稿にない加除及び訂正は認めない。
- (11) 投稿者用の別刷は 1 編につき 50 部を上限とし、それ以上は投稿者の実費負担とする。
- (12) 本誌の編集・発行に関して生じる必要事項については、紀要編集委員会において決定する。
- (13) 本誌掲載論文等の著作権は岩手県立大学社会福祉学部へ帰属する。

### 2 投稿原稿の種類

投稿原稿には、次の区分を設ける。いずれの場合も未公刊であることを原則とする。なお、(1)～(3)を査読の対象とする。査読の結果によっては区分の変更を求めることもある。(4)については、形式ならびに表現、用語等を整えるために、紀要編集委員会による協議を経て採否を決定する。

#### (1) 原著論文

理論的研究や実証的研究、社会問題や政策などに関する論考などで、先行研究と比較して「新たな知見」が見出されており、またそれが明記されている原著論文。

#### (2) 研究報告

理論的研究や実証的研究、社会問題や政策などに関する論考などで、仮説としての萌芽性、独創性が見られるもの。

#### (3) 総説

特定分野、領域の理論的展望や研究状況の展望。

#### (4) その他

ケース報告、実践報告、調査報告、書評、資料紹介など、研究推進委員会が該当する区分を設ける。

### 3 投稿原稿の受付

- (1) 投稿の申し込み・原稿提出の締切日は、研究推進委員会が適宜定めて公表する。
- (2) 投稿原稿は、別に定める「投稿票」を添付して研究推進委員会に提出するものとする。投稿原稿多数の場合には、受理した日付を考慮して研究推進委員会が掲載方法等を決定する。なお、紀要の編集作業を迅速化するために、形式に沿わない原稿は返却することがある。